



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD
 世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、
 そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
 ~我がクラブの志と共に~

第17回(通算1631回)例会報告

令和5年11月17日(金)

フォーラム「社会奉仕」

出席報告

総会員数57名(計算会員数47名)欠席13名出席率72.34%前々回修正出席率79.17%

歌/会場

国歌・奉仕の理想

会場:ロワジュールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30~

会長の時間

山本雅久会長



皆さんこんにちは、先日の動植物公園の地区補助金を利用しての活動としての取り組みもどうか動物園の人達の協力と得て豊橋市内の小学生の募集を動物園での絶滅危惧種の動物の骨標本をチャドカムを利用して骨

標本を作成し、骨の形態からどのような食生活をしていたか学びの場を作り。コウノトリ、レッサーパンダ、トラの3体の動物で触り、見、学んだ。募集人数が50名(小学生)と父兄合わせて約100名が参加された。席上豊橋市よりこの事業に対して感謝状を豊橋ゴールデンロータリークラブに贈られた。社会奉仕委員長石原聖季会員はじめ多くの会員及び家族の方々には準備から運営までご協力に感謝いたします。有難う御座いました。

11月17日社会奉仕委員会のフォーラムです、石原聖季社会奉仕委員長リーダーシップによる素晴らしい資料を作ってください皆様もとても参考となったことと思います。フォーラム自体会員のロータリーに対する考え方いろんなとらえ方をしている何が正しいかどうかは会員のロータリー活動を考えて答えを選んでいただくようしましょう。社会奉仕委員会皆様ご苦労様でした。有難うございました。

12月22日の年末家族会の参加者が少なく思います、35周年を迎え皆様でお祝いしましょう。当日素敵なサンタさん素敵なトナカイさんに会うの楽しみにしてください。奮って参加してください。よろしくお願いたします。

入会記念日祝い

太田和彦会員



ロータリーの友読みどころ

高橋哲也雑誌委員



<横組み>

□RI会長(ゴードン・R・マッキナリー)メッセージ【5ページ】

今月11月、中東と北アフリカ地域の平和構築を支援するため、国際ロータリーと第2420地区(トルコ)はトルコ・バチェシエヒシユ大学とパートナーシップを結んで新たに誕生するロータリー平和センターの調印式を行うという記事がある。このプログラムは25年前から開始されて以来、1700人を超える平和フェローを輩出し、140か国以上で活躍しているそうです。記事の最後に、平和とは、粘り強く実践していくものであり、希望が根付くための土壌だとあったが、現在ウクライナやイスラエルで起こっている戦争もこのロータリーの活動によって少しでも早い解決へと進むように願うばかりだ。

□特集(ロータリー財団月間)チャレンジ!グローバル補助金プロジェクト【7ページ~】

ここでは、ハードルが高そうなこの補助金について、申請方法や4つの具体例などを挙げて説明をしている。記事の最後に、2022-23年度グローバル補助金の承認件数のデータより、日本は事業の約半分が奨学金事業で、奨学金事業はアメリカに次ぐ世界第2位だが、人道的プロジェクトが少ないという結果がある。興味がある方はご一読を。

□11月5日を含む1週間は世界インターアクト週間【18ページ~】

当2760地区の春日丘高校インターアクトクラブ(春日井市)の活動記事が掲載されていた。ここでは、高校生

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!



井上 穂会員

辻 信之会員



インターアクターが講師となり、小中学生を対象に各州支援をしている無料塾「みんなのひみつきち」という団体を NPO 化し、3 つのロータリークラブの支援を受けながら活躍の場を広げているという内容。

□座談会「トレーニングからラーニングへ」【20ページ〜】

先日、当クラブでご講演いただいた高野孫左衛門氏がファシリテーターを務めながら、3名のガバナー経験者のロータリアンと「見直される学びのあり方について」色々な話をしている。今年度から、ロータリーにおかえる学びのアプローチが研修モデルからラーニングモデルに移行され、これが示唆する今後のロータリーの流れとは？という内容にご興味がある方は是非ご一読を。

<縦組み>

□この人を訪ねて（大阪 RC）嘉納治郎右衛門さん

日本酒好きな人でなくてもご存じ菊正宗酒造(株)の社長を務める同氏のダイナミックな経営戦略についてご興味ある方はご一読を。

□声（8月号の感想）【22ページ】

私（高橋）の感想が掲載されました！これで雑誌委員会としてのミッションをクリアできたと勝手に思っています。

職を経験してもものすごく変化して参りましたというよりは、ロータリーの思想の深さに圧倒され続けながら今日にいたりしたので豊橋ゴールデンロータリークラブとの出会いは、本当に良かったと思います。

長年、理事・役員への任命された役を果たすことから、良くも悪くも数多くの体験を積み、幅広い知人、仲間を得て知識を授かり、人生そのものにインパクトを与えて頂きました。現在では、自分なりの信念であります「ブレない」を掲げ真実を追い求めながら行動する日々でとても充実感と疲労感の両方を得ながら人見知りの性格から少しではありますが成長することが出来たと思いますので本当に良かったと思います。

さらにロータリーの魅力は、知らず知らずのうちに他人に対する思いやりの心、助け合いの心を持ち、相手の喜びや悲しみのわかる人間に改良されていくことではないかと思えます。一言でいえば、それは佐藤千寿氏の訓えですが「ロータリーは人づくりである」に帰すると思えます。そして、どのようにしたらロータリーを楽しめるのかなと真剣に考え自分なりに導いた答えは、ロータリーの本質を正しく理解する必要があると思えました。皆さんは友達を作る楽しみや、自分が会長になって、自分のクラブをもっと素晴らしものにしていく楽しみや委員長になって委員会を作る楽しみもあるでしょう。それから、財団や米山に、お金の有る方は、いっぱい寄付をしてみなさまの為に尽くすという楽しみもあるでしょう。本当に楽しみ方は、多様でいっぱいあります。しかしながら一番大事なものはそれを、自分で考えて見つけ出すこと（気づき）が、非常に重要なことだと思えます。

最後になりますが今後は、ロータリーを明るく楽しみながら小さな親切心を持って例会に出席したいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

会員スピーチ
「私が今まで育んできたこと」
「私が現在育んでいること」
「私がこれから育んでいきたいこと」



辻 信之 会員

皆様、こんにちは。今日は、会員スピーチのお時間を頂きありがとうございます。ロータリー歴 14 年を迎えます辻です。宜しくお願ひ致します。現在は、仕事の業務形態の対応に時間を

取られる日々が続いており例会に出席できておりません。大変申し訳ございません。私がいままで育んできたロータリー観について話をさせていただきます。

豊橋ゴールデンロータリークラブに入会させて頂き、本来なら出会うことすらなかたであろう立派なロータリアンと知り合い、気を許し合い、奉仕を語り合い、人生を語り合うことができるようになりました。そのおかげで、多くのロータリアンの職業観や人生観、真摯で誠実な生き方、そして立派な人柄にふれながら、自己管理や円滑な人間関係の在り方などを学び、それらを自分の事業や人生に生かすことができております。そして、仲間やクラブや地域住民の為に、知恵と汗と時間と多少のお金を出し合いながら、奉仕活動に夢中で取り組んで参りました。

現在は、三河佃煮工業協同組合に所属し愛知県豊橋食品衛生協会で会員の食品衛生の向上と食品衛生思想の啓発に努めております。また、身の丈にあったボランティア活動を通して「子ども食堂」に幅広い支援活動を持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する社会を目指して人間力を磨いております。そこで苦勞や困難であった時に忍耐や我慢を覚えそして我慢をしながら、苦難や困難に立ち向かっていけば、やがてそれが練達の域に達することが出来ます。そして熟練や達人の域の境地に達した時こそ、希望が見えて来ると思えます。奉仕をした先に希望が見えてくるという「練達」というのはクラブの幹事

フォーラム「社会奉仕」



神谷 馨ロータリー情報委員長
 ロータリー情報委員長の神谷 馨でございます。今日は、社会奉仕委員会フォーラムでございます。

11月5日に担当例会で豊橋動植物園にて絶滅危惧種の動物たちをテーマにした講座が開催され、地域社会や環境に対する課題について考えました。おつかれさまでした。

クラブ方針『輝こう！豊橋ゴールデンロータリークラブ～我がクラブの志と共に～』の実現のため、2つのテーマについて闊達なご意見をよろしくお願ひ致します。

RCC の取り組み事例についてのアンケートをお願いしました。そのご回答をもとに話し合いを進め、この地域をより良くするために会員一人ひとりの意識を高めましよう。

フォーラムリーダー 石原聖季社会奉仕委員長



皆さん、こんにちは。社会奉仕委員会 委員長の石原です。まずは 11月5日の地区補助金事業にご参加頂いた皆さん、ありがとうございました。特にチームに帯同して頂いたメンバーの皆さんにおかれましては私からの無茶ぶりにも快く引き受けて頂き、臨機応変に子ども達を



誘導して頂き、トラブルも特に起こりませんでした。本当にありがとうございました。私自身も豊橋ロータリークラブの中田さんに言われたように参加した子ども達の発表している姿や笑顔を見て少し幸福度が高まったのを感じたのですが、同時にかなりの疲労感に襲われ、かき消されました。

そして地区補助金事業が終わったのと同時に始まったのが皆さんの机の上にある社会奉仕例会でのアンケート集計・分析作業です。今回はこの資料を使って、RCCについて再度考える機会を作ります。フォーラムテーマも前後半に分け、なぜこのテーマにしたのかを説明させていただきます。テーブルリーダーの方はそれぞれのテーマに従って意見集約をお願い致します。

この20日間、10月27日の社会奉仕例会に始まり、個人的な想いとしては「RCCに白黒つけてやる！」という気持ちで臨んでおりましたが、地区補助金事業を経て今回の社会奉仕フォーラムと担当事業が続いてくると正直半分「どうでもいいや、、、」というか良くも悪くもフラットな気持ちとなり本日を迎えております。皆さん、宜しくお願い致します。

アンケート分析の説明（前半）

1. 当クラブで行っていたRCC事業（VHNW）について、理解ができましたか。

過去の当クラブで行っていたRCC事業について、概ね理解が深まりました。杉田会員ありがとうございました！

理解できなかったと返答された方も入会して間もない方であり、今後も経験を重ねていけば理解が進んでいくと考えます。

2. 以前の活動について、もっとこうすれば良かった等の反省や継続していく上での課題等、ご自身の思うところを記載して下さい。

「青少年委員会の委員長やメンバーの負担が大きかった。」「全会員で取り組む仕組みが必要である」という意見が多かった。ロータリーのシステム上の問題（会長・幹事・担当委員長が毎年入れ替わる）、学校のシステム上の問題（毎年、教諭も生徒も変わる等）により関わり方の難しさがあったという意見も多かった。

何らかの良い機会を与えていたと思いますが、20年続いてきてOBOGを含め、1人も育たなかったという率直な意見もあり、RCCの最終的な目的である自立に向けての段階的なアプローチの仕方を検討する必要があったと考えます。

継続事業はあっても良いという意見も多く、その場合は事業を簡略化する等の負担が一部に偏らないよう工夫する必要があります。

3. 他クラブでのRCCの活動事例について、参考になる点はありませんか。どの部分が参考になったか記載して下さい。

付度して頂き、ありがとうございますww。

「参考にならなかった」との率直なご意見も頂きました。多分、既に知っている内容が含まれていたことや余り深掘りができていなかったこと等が考えられます。参考になったポイントの中で、無理なく継続的に活動して

いく手法や会員一人ひとりの地域との関わりからRCC設立につながるなどを知ってもらえたのではないかと考えます。また、RCCを取り組むなら、継続していく覚悟も必要なことも伝えられたのではないかと考えます。

しかしながら、もっと多くの事例を知りたいとの意見や他のクラブと同じような活動では独自性がなくなる等のご指摘も頂きました。いろいろとご意見ありがとうございます。

テーマ①：豊橋ゴールデンRCCについて、「20年続いてきたのにOBOGも含め、育たなかった。」という意見。奉仕に携わる人や組織はどうすれば育てられますか？どうすれば自走できますか？

① 1・2テーブル：テーブルリーダー 石原聖季

- ・とにかく突っ走って実行していくこと。委員長長の挑戦が足らなかった。
- ・高校生は育ててくれたがマンネリ化してしまった。善意銀行とのコミュニケーションが取れておらず、途中ロータリーの自己満足ではないかという時期があった。ただ、高校生は喜んでた。

② 3・5テーブル：テーブルリーダー 青山会員

- ・育たなかった訳ではない。育った実感もあるし、評価もできる。担当が毎年変わる。
- ・良くできていたと思う。ただ直接参加できない。育てる立場でもない。やることは大変。
- ・幹事役が毎年変わり変化していくため、その都度必要な意見は交換できていた。
- ・会員全体の参加義務は無かったので、温度差もある。育たなかったと断言はきつすぎる。
- ・実際に担当された方々は意義も理解実感できている。情報交換も大切。この活動は素晴らしかったと思っている。
- ・12校が集まって行う難しさはあるが意義もあった。
- ・他クラブとの関りでマイナスを感じる点もあったのでは。
- ・20年で締めたこともOKであったと感じている。誇るべき活動であった。
- ・現役の高校生と会員が接することも良いことであった。
- ・魅力が本当にあるのか検証すべき。

③ 4・7テーブル：テーブルリーダー 大林会員

- ・VHNWは野場会員が進めたと聞いているが、先生にこれをやるからどうですかと、クラブで先導して行っしまい（それしか実行できなかったかも）、隊長（善意銀行）、隊員（各 高校先生）が受け身とらえたのでは思われる。能動的になるようなアプローチが必要だったのでは。
- ・委員長は年度毎／先生は数年で替るため、少なくとも単年度の委員長ではなくプロジェクトとしてアプローチしていくことが必要条件では。
- ・OB・OGも含め、育たなかったとあるが、OB・OGの少なくとも幹事校経験者は成長していると思う。組織としては疑問が残るが、資金面さえクリアすれば自立できたのでは？資金も一校3万円が本当に必要だったか、ネットワークと発表の場を提供することで自立へと進めたのでは。

④ 6テーブル：テーブルリーダー 神谷会員

- ・担当メンバーに負担が多すぎる為、理事会を含め全体で運営する仕組みを作る。



・まず、ロータリーの強みは、I serve。人や組織を育てるというより、育った個々の人が集まり組織となるということ。組織を育てるというのは考えない方が良くと思う。「1人1人を大切に育てていけば、結果として組織は育つ」と信じるべきだと思う。必要な要素は、中核的価値観に述べられている。親睦、奉仕、高潔性、多様性、リーダーシップ。それに付け加えての、ロータリーソングの奉仕の理想から取ると、タイトルの奉仕の理想。我らの生業からは、向上奉仕という向上心を示す言葉。向上心をもって、理想を目指すべしと思う。向上心あるリーダーであるならば、その方々が組織する団体は、どっちみち勝手に自走していく。進む方向を間違わないように、中核的価値観のもと、ロータリアンとして支えれば良いと思う。

アンケート分析（後半）

4. 当クラブの過去の経緯と他クラブの活動を聞いて、今後機会があれば再度 RCC に取り組むことに賛成ですか。理由も記載して下さい。

賛成・条件付き賛成を合わせると 85%が賛成という結果が出ました。ただ、条件をしっかりと精査していくことと反対意見にしっかりと耳を傾けていく必要があります。

「期限を決める」「自立を促す」「クラブの総意と覚悟」「継続可能な仕組み」「柔軟性」「確固とした活動目的」、…これらをクリアにした上でロータリーが地域社会に価値を生み出すことが求められます。

反対意見について、過去の経緯もあり当然の意見であると思います。同じことを同じように行うということなら実現は厳しいと思います。違う切り口で RCC を行うと考えれば、いつか理解してもらえるタイミングがあるものと考えます。

5. この地域で RCC に再度取り組むとしたら、どのような活動が適当だと思いますか。

傾向としてはスポーツを含め青少年を対象にした取り組みが良いという方が約 7 割以上を占めました。また、地域社会の発展につながるもの、継続性があり・負担が大きくなるもの等の条件を満たすことなどが必要になります。

自立運営を目指すにはまずはリーダーの存在が不可欠です。青少年を対象とした取り組みの中でリーダー的存在の方がいる事業を会員一人ひとりのつながりの中で見つけていく作業がまずは必要になります。

具体的なキーワードとしては「絶滅危惧種」「保護ネコ」「小学生のバスケットボール」「働く人々」等がありました。そのような意見を更に掘り下げていくことが必要です。

6. その他、何かご意見がございましたら、記載して下さい。

いろいろとご意見を頂き、ありがとうございます。今回は記名方式でのアンケートにしましたが、個人的には誰がどう考えているのかを知る良い機会となりました。また、アンケートの記述もそのまま記載しました。ありのままが会員同士の温度差を感じて頂けると考えました。

「終わったばかりでもうやりたくない。」という本音もあるのが現状です。RCC に取り組む場合にも現状を踏まえてしっかりと説明や会員の総意が必要となります。

RCC を立ち上げると決まった際には一委員会が担当するのではなく、プロジェクトチームを作って有志で進めていく方が良いという意見については賛同します。単年度で進めるものではなく、しっかりと事前準備と計画、丁寧な説明が必要となるからです。

最後に個人的な労いの言葉ありがとうございます！

テーマ②：自立運営を目指すにはまずはリーダーの存在が不可欠です。皆さんのつながりの中で実際に奉仕活動に従事されているリーダー（特に青少年育成）を具体的に教えて下さい。

① 1・2 テーブル：テーブルリーダー 石原会員

・スポーツを通したまちづくりを目指す菅沼卓徒さんは良いのでは。

- ・青少年事業より文化的活動の方が良い。
- ・障がい者にスポットを当てるもの。
- ・「絶滅危惧種」に至ってはなかなか難しい。
- ・植樹活動もいろいろなところで行っている。

② 3・5 テーブル：テーブルリーダー 青山会員

・ローターアクトの高橋さん。サーラにて積極的に活動している。表浜ブルーウォークを行っている方。

・穂の国森づくりの会

③ 4・7 テーブル：テーブルリーダー 大林会員

・例えば、少年野球など大会のカムリとなり自立できる運営大会が継続企画できるのではないのでしょうか。

・海洋少年団のように海のある地域に必要な組織を立ち上げ、指導員の確保教育環境も作り、自立できるような支援ができれば良いのでは。但しプロジェクトでないと難しい。

・少年倶楽部（野球、サッカー、バスケット、バレー、などなど）の年に一回異業種大運動会を体育協会を巻き込み、持続可能な大会に育てられないか。

・市民協働課に地域で必要とされてる活動など参考意見を聞いて検討してみてもは。

④ 6 テーブル：テーブルリーダー 神谷会員

・RCC の考え方を理解し、ロータリーメンバーと組織が目標を明確にして、共に前向きに運営する事が必要。

・思い浮かぶ例が1つあるが、前にも書いたように、進む方向を間違わないようにというのが、とてつもなく難しい。色々問題があって、どの団体の誰かとは言えないが、県内の大学生で中退し、ボランティアの組織を株式会社の形態で立ち上げた方がいる。その方も色々な方からアドバイスを受けているようだが、関わりのあるロータリアンが、倫理上、変な方向に誘導したりとか、青少年に付度し過ぎて向上の余地を奪ったりしてはいけないと思う。多様性という言葉で片付けると後々本人や周囲の為にならないというケースもあるということ。

それ以外の例で言うならば、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）のプロジェクト自体が青少年のリーダーを育成するプログラムである。その中で、RYLA 学友会に関する部分を取り上げるが、歴代の RYLA 学友会の会長さんをはじめとした 30 代後半のベテラン学友たちは、20 代の後輩の面倒を若いなりに親身に良く見ていると思う。結果として、フレンドシップだけでなく、それに勝るフェロウシップの関係性を学友同士で作りに上げられている。時には稀に、若さ故、間違った方向に指導しかねない



と感じられるシーンもあるが、そこは、ロータリアンである RYLA 委員が修正していている感じ。修正する方向性を巡って、委員同士、やり合いになる時もあるけど。そういった、「時には厳しく、でも、互いに親身になって」ということがベースにあつての、RYLA セミナーに対しての学友達からの協力であったり、WFF でのブース出展だったり、学友会としての研鑽の場としてのキャンプだったり、RYLA セミナー同窓会の開催といったボランティア活動という目に見える成果だったりする。

奉仕活動と青少年を組み合わせると、個々の成長という綺麗事の裏側に「現状ではまだまだ危なっかしい青少年」という側面もある。奉仕の活動のやり方の技術論みたいなものを伝えて成長を促すということも重要だが、やり過ぎには注意が必要。奉仕の活動に多くの時間を浪費して自分の夢は置いてきぼりとか、集団圧力で泣く泣くやらされるとか、そういうものに対し、個々を大事にするという観点が上にくるべきと思う。各自の人生を大切にしながらの奉仕活動。誰がどうやって守ってあげるのか。これもまた重要。青少年と関わるからには、ロータリアン自身の高潔性を言行をもって示す必要があり、自然と高潔性が青少年に伝わっていくという基本が大事。奉仕活動も、近江商人の三方良しで。奉仕の成果の裏側で泣いている人が出ないように。奉仕事業の成果のためには誰のどんな犠牲も厭わないというタイプの方を結果的に生み出してしまおうといったことがないように。こころ辺りに対しては、多様性という言葉逃げ道に使ってはいけないと思う。

奉仕に携わるリーダーが他者への愛情をベースに物事を考えているのか、自己顕示欲や、その転嫁としての団体の顕示欲で物事を考えているのか、そこら辺、見極めることが大事。



趣味の会報告

クラブ・ゴールデンカップ

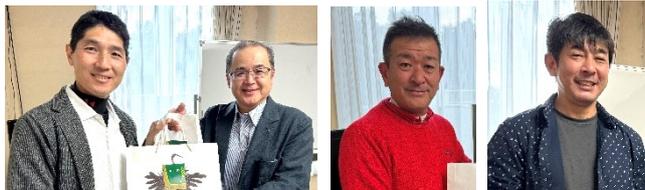
11月16日(木) 葛城 CC

優勝：宮川嘉隆会員

準優勝：鬼頭秀幸会員

3位：鈴木紳昭会員

鈴木紳昭会員



★ニコボックス

山本雅久：社会奉仕フォーラムです。よろしくお願ひ。
先日の動物園の活動にご協力ありがとうございました。

牧野政雄：四つのテストの唱和をさせて頂き。

井上 穂・辻 信之：誕生日をお祝ひ頂き。

太田和彦：入会記念日をお祝ひ頂き。

高橋哲也：ローターの友読みどころを紹介させて頂き。

辻 信之：会員スピーチをさせて頂き。

神谷 馨：社会奉仕フォーラムです。ご意見をお願ひ。

石原聖季：RCCについて活発なご意見をお願ひ。

大林則久・青山泰三：テーブルリーダーをさせて頂き。

石原聖季：11/5 地区補助金事業にご参加ありがとうございました。皆さん、幸福度が上がりましたがー！

小久保拓吏：12/22 年末家族会にご参加よろしくお願ひ。

岡本久永：ゴールデンカップで BB 賞を頂き。メンバーの方に何かとお世話になりました。

鬼頭秀幸：ゴールデンカップで惜しくも準優勝でした。

鈴木紳昭：ゴールデンカップで 3 位入賞しました。

宮川嘉隆：ゴールデンカップでまたしても勝たせて頂き。皆様の温かい友情に感謝です。

辻 信之：写真ありがとうございます。

太田和彦：ニコボックスを発表させて頂き。

太田和彦ニコボックス委員長

★幹事報告

・ロータリー希望の風奨学金支援へのお礼状、2023-24 年度地区大会のお礼状、2024-25 年度地区大会 2 日目開催場所変更のご連絡が届いております。

★他クラブの例会変更

■11月27日(月) 豊橋南 RC クラブフォーラム

■11月28日(火) 宝 飯 RC 会場都合のため

■11月29日(水) 豊橋東 RC クラブフォーラム

■11月30日(木) 豊 橋 RC T E C 報告会